

高齢者外出支援事業（ワンコインパス・ふれあいパス助成）について

1. 経緯

高齢者の外出支援策として平成 15 年度より「ふれあいパス購入助成」を実施してきたが、より幅広い高齢者の外出支援策の拡充が必要と判断し、ワンコインパス事業の創設にあたり実証期間を設け、令和 2 年 7 月から令和 5 年 6 月まで（コロナ禍の影響により 1 年間延長）検証中。また、実証に合わせ、ふれあいパスの助成額を 800 円から 500 円に引き下げている。

2. 事業内容

(1) 対象者：満 70 歳以上

(2) ①ワンコインパス：市内間の 1 回乗車の運賃 100 円、パス代年額 3,000 円。

②ふれあいパス：室蘭、登別、伊達の区域が乗り放題のパス。月額 4,580 円の内 500 円を助成。

(3) 免許自主返納助成：ワンコインパス・ふれあいパスのどちらかの初回購入費を全額助成。

(4) 財源：地域福祉ふれあい事業基金（R4.5 末残額 2 億 5,700 万円）

3. 実証経過（ワンコインパス）

	当初想定（年間）A	実証結果（見込み）B	当初比較（B-A）
パス購入者数	6,125 人	2,089 人	△4,036 人
（うち免許返納者）	330 人	136 人	△194
乗車回数	205,800 回	304,650 回	98,850 回
月平均乗車回数	3 回	12 回	9 回
運賃	240 円	253 円	13 円
利用者負担額	3,800 万円	3,700 万円	△100 万円
補助額	1,200 万円	3,800 万円	2,600 万円

- ・利用者は当初想定 of 1/3 で、乗車回数は 4 倍となった。
- ・乗車回数の増加により、補助額が利用者負担額を上回っており、補助率は 5 割を超えている。
- ・ふれあいパスはワンコインパス導入により 7 割減少。市内利用者が多いことから、ワンコインパスへの切り替えが進んだ。
- ・運転免許返納者の利用率は 4 割で、うちワンコインパスの選択が 9 割。
- ・アンケートでは、利用者のほとんどが買い物や通院で活用していると答えている。また、気軽にバスに乗れると高評価を得ている。

4. 今後の見直しの概要

実証経過から、ワンコインパスの乗車回数見込みが当初想定 of 4 倍となり、それに伴い補助額が増大。事業の継続性を図るため、パス購入代金の見直しを行いたい。

- ・補助額を事業費 of 3 割程度に抑えるには、現行ベースでパス購入代金を年額 3,000 円から 12,000 円に引き上げる必要がある。補助額は年 2,400 万円となる見込み。
- ・利用者の急激な負担増を避けるため、今後については、令和 5 年 7 月よりパス購入代金を年間 3,000 円から半年 3,000 円とし、令和 8 年度をめどに段階的な引き上げを行いたい。
- ・ふれあいパスは 500 円の助成を継続。